

# 入試について

## 【一般入試】

9 月期: 令和 7 年 9 月 13 日 (土)  
 2 月期: 令和 8 年 2 月 21 日 (土) (実施しない可能性あり)

## 【試験科目】

「生物学」の筆記試験および TOEIC 等の英語試験のスコア (過去 2 年以内のもの) と面接試問を総合的に評価して可否を決めます

**募集要項、学費、過去問などの資料請求は、**  
 理工学部学生センター (06-4307-3047)

rikoh-kym@itp.kindai.ac.jp

# アクセス



# 近畿大学大学院総合理工学研究科

## 理学専攻

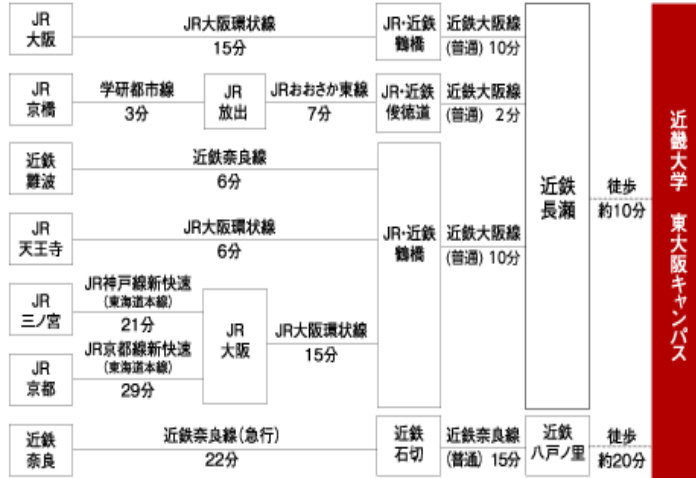
# 遺伝カウンセラー養成課程

— 令和8年度 —

**入試説明会【WEB開催】事前申込制**  
 令和7年5月31日(土) 10:00~  
 参加希望の方は、[kindai-gcc@life.kindai.ac.jp](mailto:kindai-gcc@life.kindai.ac.jp) にご連絡ください。

### 修了生は多彩な医療機関で活躍

修了年度	修了者	就職先
2007	5	国立病院、公立病院、保健所、不妊クリニック、地方公務員
2008	4	検査会社、公立病院、不妊クリニック、公立がんセンター
2009	4	公立病院、私立大学附属病院、民間病院、国立大学附属病院
2010	3	国立大学附属病院、大学教員、不妊クリニック
2011	4	高等学校教員、不妊クリニック、公立がんセンター、産科クリニック
2012	3	大学教員、国立大学附属病院、がん専門病院
2013	5	国立病院研究センター、国立大学附属病院、がんセンター、民間病院
2014	3	国立がんセンター、私立大学附属病院、民間病院
2015	5	研究機関教員、公立病院、私立大学附属病院、産科クリニック、不妊クリニック
2016	5	公立大学附属病院、私立大学附属病院、公立がんセンター、民間病院、不妊クリニック
2017	3	私立大学附属病院、不妊クリニック、国立がんセンター
2018	3	国立大学附属病院、私立大学附属病院、公立病院
2019	4	国立大学附属病院、県立がんセンター、民間病院
2020	5	国立大学附属病院、公立大学附属病院、私立大学附属病院、県立がんセンター
2021	6	公立大学附属病院、公立病院、民間病院
2022	3	県立がんセンター、公立病院、公立病院
2023	3	公立大学附属病院、私立大学附属病院、私立大学附属病院
2024	3	公立病院、検査会社



### 課程に関するお問い合わせ

興味のある方はお気軽にお問い合わせください。  
[kindai-gcc@life.kindai.ac.jp](mailto:kindai-gcc@life.kindai.ac.jp)

近畿大学大学院 総合理工学研究科  
 理学専攻 遺伝カウンセラー養成課程  
 課程責任者: 西郷和真  
 〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1  
 TEL: 06-6721-2332(代) FAX: 06-6723-2722



<http://www.kindai.ac.jp/sci/gene/>



Kindai  
 University



わが国で最も多くの学生を養成し、これまでに多数の修了生を輩出しています。(現在 81 名)

## 遺伝カウンセラーとは？

遺伝的または先天的な疾患について悩みを抱えている人や、遺伝子や染色体の検査の受検を考えている人に対し、医療の場において適切な情報を提供し、遺伝カウンセリングを通して、クライアントが自らの力で問題を解決することを援助する準医療職が遺伝カウンセラーです。下記の能力を必要とします。

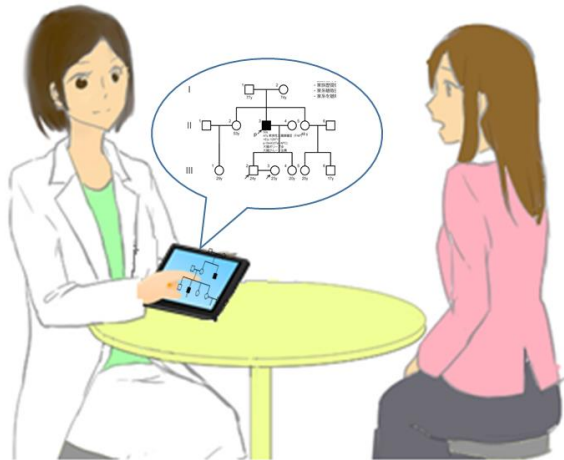
最新の遺伝医学の知識と適切なカウンセリング技術を身につけている。

社会福祉、医事関連法規、患者支援団体などの情報に精通していて、社会的、法的、倫理的課題に対処できる。

患者やその家族を援助するために、医療チームの一員として他の医療専門職との間をコーディネートすることができる。

## 認定遺伝カウンセラー制度

非医師の遺伝カウンセラーを養成する制度は2005年に発足し、その年4月に本学遺伝カウンセラー養成課程は、「認定遺伝カウンセラー制度委員会」の第一回機関審査に合格し、遺伝カウンセラー養成の専門コースとして認定されました。認定コースの卒業生に限り、同委員会が実施する認定試験の受験資格が与えられます。



## 本課程の特徴

**目的:** 生命科学関係の高度な研究技術と最新の知識を備えた遺伝カウンセラーを養成します。

**養成対象者:** 4年制大学卒業者またはそれと同等な学位を持つ者。文系、理系の違いも医療業務に従事した経験の有無も問いません。

**スタッフ:** 当養成課程の教育スタッフは、臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラー、臨床心理士の有資格者を含め、遺伝学から生命倫理学の専門家まで約40名で構成されています。

**京都大学との単位互換制度:** 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻専門職学位課程との単位互換制度があります。当養成課程の学生は京都大学大学院の講義を受講し単位を取得できます。また、**京都大学で定期的**に開催される**遺伝カウンセリングの合同カンファレンス**に参加し、様々な症例について臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラーと直接討論ができます。

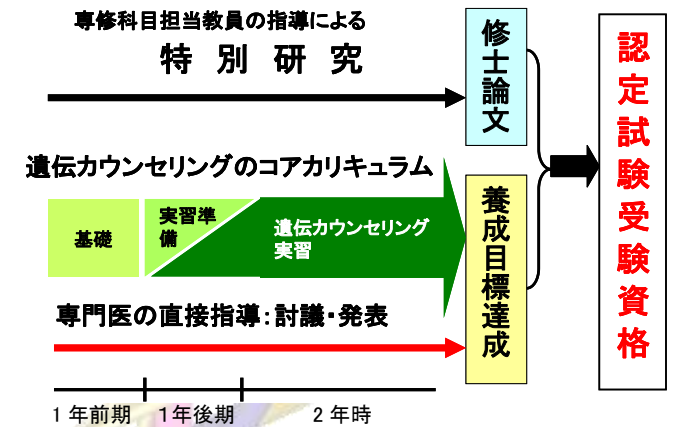
**阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン:** 5大学(近畿大学、神戸大学、大阪公立大学、関西医科大学、兵庫医科大学)連携先端のがん教育基盤創造プラン(がんプロ)で開講されている科目を受講できます。**がんゲノム医療に強い遺伝カウンセラーを養成**します。

**実習機関:** 近畿大学病院をはじめ大阪母子医療センター、奈良県立医科大学病院、兵庫県立がんセンター、市立岸和田市民病院など、近畿内屈指の医療機関で実施。

**取得できる資格:** 所定単位を履修すると理学修士の学位と「認定遺伝カウンセラー制度委員会」が実施する認定試験の受験資格を得ることができます。

**理学博士の学位:** 養成課程を終えて、より深く遺伝カウンセリングを学びたい人には博士後期課程への途が開けています。ここでは、理学博士の学位を取得することができます。

## カリキュラムの概要



**必修科目:** 分子遺伝学特論、人類遺伝学特論、人類遺伝学演習、遺伝医療と社会、遺伝医療特論、遺伝医療と倫理、遺伝サービス情報学、臨床遺伝学Ⅰ、Ⅱ、カウンセリング特論、遺伝カウンセリングⅠ、Ⅱを遺伝カウンセリング実習の準備に必須な科目として開講しています。

**遺伝カウンセリング実習:** 医療機関で実際に行われている遺伝カウンセリングに陪席して、臨床遺伝専門医から直接指導を受けます。

**選択必修科目:** タンパク質科学特論、病理学特論、分子神経生物学特論、環境微生物学特論、行動内分泌学特論、免疫分子機能特論、ゲノム情報神経学特論、計算生命科学特論、発生生物学特論、環境生理学特論、分子機能解析特論、生物データ科学特論を、必須科目を補完する科目として開講しています。

**特別研究:** 上記選択必修科目から1つを選択し、修士論文作成のため、選択した科目内容に沿った特別研究を担当教員の個別指導の下、2年間行います。

**準必修科目:** 医療特論、臨床腫瘍学、生物データ科学特論は、遺伝カウンセリングを行う上での知識を補強します。

**※令和8年度は科目変更の可能性あります。**